



『柳田国男と学校教育 ―教科書をめぐる諸問題』
(杉本仁著 梟杜)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-04-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐野, 比呂己 メールアドレス: 所属:
URL	https://hokkyodai.repo.nii.ac.jp/records/8685

【図書紹介】

『柳田国男と学校教育——教科書をめぐる諸問題』

(杉本仁著 梟社 平成二十三年(二〇一一)一月 全四三五頁)

北海道教育大学釧路校准教授

佐野 比呂己

著者・杉本仁は高校教員の傍ら、民俗学、特に柳田国男の研究をこれまで地道に積み重ねて来た。

評者は、これまで柳田国男の国語教育論についていくつかの拙論を世に送り出してきたが、杉本の研究なくしてはそれらは成立しなかったであろう。評者が柳田を研究対象として取り組み始めたのは平成十年(一九九八)のことであった。当時、柳田監修国語科教科書を対象とした研究は少なく、杉本の研究のみが先行していた。それも杉本の論文は「社会科教育と柳田国男(3)『伝統と現代』伝統と現代社 七十四号 昭和五十七年(一九八二)二月」という社会科教育のものであった。社会科教育の「鋳型」づくりの前提として「国語教科書づくり」について論じたものである。前提の部分ではあるが、そこには多くの資料が整理されており、杉本のこの論文によって、評者の研究は開かれていったのである。

本書は、柳田が携わった社会科教科書、国語科教科書を切り口に、柳田の思想と学問を通して、現代の学校教育に鋭く問題提起した大著である。

以下に、目次を記す。

はじめに

第一章 戦後教育への出発

第二章 社会科教科書

第三章 国語教科書

第四章 柳田教育学の挫折

第五章 柳田民俗学の継承とその可能性

終章 共同社会の理想と柳田教科書

引用文献・参考文献一覧

あとがき

人名索引

特に、評者が注目するのは第三章である。第三章は次のように構成されている。

- 一 語彙主義と国語教育
- 二 小学校国語教科書
- 三 中学校国語教科書
- 四 高等学校国語教科書
- 五 国立国語研究所

杉本 仁

柳田国男と 学校教育

第 二 章

「小学校国語教科書」の項には、評者の「単元「人間」とば」の国語観（『語学文学』第四十六号 北海道教育大学語文学会 平成二十年（二〇〇八）三月）を検討し、論を展開する。評者が単元「人間」とばにしぼって考察しているのに対し、改訂後の同単元とを比較し、柳田の国語科教科書観に迫っている。今後、評者も改訂後の同単元を杉本の論を参照、検討する必要があるだろう。

第三章において、杉本は、その他の単元についても特徴的なものを選択し、検討を加えている。それとともに、それぞれの国語科教科書について、全体の構成、ねらい、評価等にも研究が及んでいる。さらに第二章においては社会科教科書にもそれは及んでいる。

これまで評者は、国語科教科書に限って研究の対象としてきた。しかし、社会科教科書と二つを並べると柳田国語科教科書の特徴が浮かび上がり、さらには柳田の思想の具体像を見ることができることがわかる。杉本が民俗学の立場から論究するよう、評者も国語科教育の立場から検討し、杉本の学恩に報いたいと考える次第である。

教科書に見られる柳田の思想と学問を通して、現代の教育のあるべき姿を再検討していきたいという思いを強くした。閉塞感に満ちあふれ、混沌とした現代だからこそ、闇の海を照らす灯台として柳田をとらえたいところである。